

くるくるつうしん 第8号

平成18年1月1日発行

発行：特定非営利活動法人くるくる

〒448-0843 刈谷市新栄町7-73-3 フラワービル3F

TEL&FAX：0566-28-7496

Mail：kurukuru@arion.ocn.ne.jp

URL：http://www17.ocn.ne.jp/~kurux2

これが新・くるくるカーの面々です



独立行政法人福祉医療機構様より寄贈
ダイハツ ハイゼット

児童デイサービスの送迎に活躍！
トヨタ ノア購入(12月)

新年あけましておめでとうございます。



本年もよろしく願いいたします。

さて、障害者自立支援法の施行が迫ってきました。利用者・行政・事業所それぞれの立場で今後のイメージづくりや具体的な動きをしている所でしょう。

先日朝、新聞を広げると来年度の国家予算についての記事が載っていました。「小泉首相公約の国債 30兆円枠を守るために果たしてどんな増税策を？」と興味深々で読んでいましたが、だんだんと仕事柄、社会保障費や教育関係の施策に目がいきます。そこには医療改革や少子化対策が大きく取り上げられていて、「障害者福祉」や「自立支援法」はあまり触れられていませんでした。「福祉制度始まって以来の大改革」と言われている自立支援法ですが、まだ一般の人達からしてみれば他人事なのかもしれません。

さて、12月3日誰もが暮らしやすい街づくりフォーラムに、多数のご参加、ありがとうございました。当日は近藤房之助ライブを始め盛りだくさんの企画に、NPO・福祉団体のブースも大盛況だったようで、手作りクッキーや自主製品は軒並み完売状態だったようです。

今回のフォーラムは「福祉関係者だけでなく、一般の人達をたくさん巻き込もう」という狙いをもって企画しました。福祉関係者で集まり勉強会やフォーラムを行うことも重要なのですが、自立支援法施行～介護保険統合（税金だけでなく国民からの保険料も財源）の流れになっている現状で地域の人達への理解や関心を広げていく機会もこれからは必要です。もちろんホームヘルプや余暇クラブ、出前コンサート等くるくるで行っている事業はそんなイメージを持って取り組んでいます。が、「啓発企画という方法で地域の人達にアピールする機会をつくる」という手もあるのだということを今回のフォーラムで伝えることができたのであればうれしく思います。

「少子化」の件では、とうとう初の「人口減」(統計開始以来)になったということですが、これもずいぶん前から分かっていたことで、とうとうこの時がきたかという感想をもちました。これから高齢者が増え、障害者が病院や施設から出てきた時、地域の「受け手」側はどう感じるのでしょうか？とにかく、自立支援法は動き出します。改めて「地域福祉とは？」と考えさせられます。

(鈴木)

◆ホームヘルプ

この冬は寒さが厳しいですが皆さんいかがお過ごしでしょうか。私も4月に常勤スタッフとしてくるくるに採用され、はや9か月が経ちました。仕事に追われながらのあっという間の9か月でしたが、その中で改めてホームヘルプなどの生活支援、特に移動介護の重要性を感じています。今まで家に閉じこもりがちだった方が家族以外の人間と外出できたり、飲食店に入って食べたいものを自分で注文することができたり…。いろいろな場面に関わらせていただくことで、皆さんの成長、変化を肌で感じることができました。そして、成長や変化といった部分を語る時に欠かせないキーワードとなるのが「経験」と「自信」ではないでしょうか。私たちの日常生活の中でも経験のないことに挑戦する時、不安になったりやり方がわからず困ってしまうことはよくあります。しかし、支援費制度が始まるまでの福祉では、その段階でできるかできないかの判断をし、できなければ社会から隔離された場所で指導するという発想があったように思うのです。それが支援費制度の移動介護によって実社会の中で経験をし、自信をつけ、生活に必要な能力を伸ばす機会(家族以外と、という点も重要です)ができました。今後もこのような機会を確保することは、自立という視点からみてもとても重要だと考えられます。

そんな中、いよいよ4月から障害者自立支援法が施行されます。この法律において、移動介護は国が保証するサービスには含まれず(9月までは外出介護として残ります)、移動支援事業という名前で市町村が行うサービスとなります。刈谷市がどのような形で移動支援事業を行うのかはまだわかりませんが、一般的には移動介護より使いづらく、制限の多いサービスになるだろうといわれています。そうならないためには、今後行政に移動介護の重要性や実績を伝え、それに代わる移動支援事業の枠組みをしっかりと見ていく必要があります。残された時間は多くありませんが、くるくるも事業所としてできる限りのことをやっていきたいと思っていますので、ご協力をお願いいたします。

(小沢)

<ホームヘルプ利用状況>

	利用者数	身体介護	移動介護	行動援護	総利用時間
9月	49人	50.5時間	253.0時間	38.5時間	360.0時間
10月	52人	50.5時間	261.5時間	32.0時間	351.5時間
11月	47人	29.0時間	274.5時間	42.0時間	348.0時間

◆児童デイサービス

「放課後の余暇支援が欲しい」という多くのニーズをいただき、12月15日付で、児童デイサービス『くるりん』がスタートしました。三河弁のじゃん・だら・りんの“りん”とくるくるをつなげて、『くるりん』。三河の地域で活動していきたいという思いのこもった名前です。



『くるりん』外観(民家を借りています)

児童デイサービス『くるりん』は、刈谷市、知立市の障害のある児童(小学生まで)を対象に、平日放課後と土曜日・祝日の余暇支援をしています。

“学校でもない、家でもない児童デイサービス”を目指して…

- ☆ 春にはお花見やガーデニング、夏は水遊びやボディペインティング、秋は焼き芋大会！冬はお餅作りなど、行事や活動を通して季節感を味わいます。
- ☆ 集団ゲーム遊びやおやつ作り、バスを利用してのお出かけなど、友達を意識した小集団活動を行います。
- ☆ 個々に応じた活動にゆったり、じっくり取り組んでいきます。

《活動内容例》

養護学校へお迎え
 登所
 ・各自準備
 ・トイレ
 はじめの会
 (あいさつ・出欠・活動内容の確認)
 集団活動
 ・トイレ
 ・おやつ
 フリータイム
 ・個別の活動
 片付け・掃除
 帰りの準備
 帰りの会
 (活動の確認・次回の予定・あいさつ)
 退所
 自宅へ送迎

☆ 児童デイサービスで…

- ◆ 排泄や身の回りの整理など身辺自立を促す。
- ◆ 片付けや掃除など日常生活力を養う。
- ◆ 買い物や公共のバスに乗るなど社会性を養う。

《集団活動》

- ・平日 創作活動・集団ゲーム・その他
- ・第1土曜日 お菓子作り
- ・第2土曜日 バスでお出かけ
- ・第3土曜日 各行事会
- ・第4土曜日 誕生日会

《その他の活動》

新聞遊び・しゃぼん玉・水遊び・ブロック
 散歩・お出かけ など

子どもの頃に得た多くの刺激や経験は、将来の生活の幅を広げる大切な基盤になると思います。その基盤が豊かな人ほど、楽しく素敵な人生を送ることができるのではないのでしょうか。

子どもの頃にたくさんの種を蒔き、たっぷり水を注ぎ、そして、いつしか個性あふれる素敵な花がたくさん咲きますように…。

(篠田 聡美)

◆出前コンサート

12月はクリスマス会等の申し込み、多数いただきありがとうございました。日によっては人気のグループが重なったり、都合が悪かったりしてお断りさせていただきました。これに懲りずまたご利用下さい。

また、12月3日フォーラムに出演してくれたANGELSさん、ありがとうございました！ (鈴木)

【朝日新聞記事参照】→
 (2005年12月4日)



ステージで歌うエンジェルズ。右が手話ボーカルの野村さん。

手話ボーカル 共に歌う演奏

「障害者週間(12月1日)の3日、刈谷市では「誰もが暮らしやすい街づくり」をテーマにしたフォーラムがあった。ステージでは、手話バンドが「音楽が聴こえてくような手話」を披露。聴こえる人も聴こえない人も一緒に音楽を楽しんだ。最後を飾ったのは国際的なミュージシャン近藤房之助さんの本格ライブ。「福祉関係者の枠を越えた」。主催者の思いに近藤さんが即座に答えた。(中沢一穂)

近藤房之助さんも参加

主催はNPO法人ぐるの。障がい入たちがそれぞれに暮らしやすい社会があるって、障害のある人も支えていく。「障害者だけを支える社会はない。高正さんの考えだ。高正さんは51年に刈谷市に生まれた。20代でバンドを結成。ハスキーな声と鮮やかなギターでファンを魅了。国内外で演奏活動を重ねてきた。この日のステージでも、ブルースの曲次々に披露。ブルース調にイマジン歌い上げ、平和への熱い思いも伝えた。手話バンドは8年前に結成された「エンジェルズ」。演奏メンバーは7人。ボーカルが入っているのが特徴だ。声を出して歌うボーカルと、その歌声とともに手話で歌う「手話ボーカル」。手話ボーカルは、バンドの設立メンバーで刈谷市に住む野村知未さん。耳の聞こえない野村さんは、手話で歌うとき、歌詞の言葉をそのまま書き換えるだけでなく、歌の意味を解釈し、そのイメージを全身で表現する。そう誓うリーダーの山田光久さん(53)は蟹江町在住。13年前、野村さんのステージを初めて見た。見懐けてきた手話とは違った。「話し言葉とは違う。これが歌なんだって初めて分かった」。エンジェルズの締めくくりはキロロの「未来へ」。野村さんは「まだまだ社会には差別がある。その差別をどんどん小さくして行って、差別のない社会になっていくといい。その気持ちを込めて歌います」。手話で語って歌い始めた。

刈谷でフォーラム

◆余暇クラブ

宿泊体験も始まりました～(^O^)/

児童デイサービス『くるりん』の開所と同時に宿泊体験イベントも開始、友達との宿泊を楽しむ、将来の自立に向けて体験する、などさまざまな目的で参加されました。初回は、参加された方の「クリスマス会をしよう！」の希望にケーキを購入して、みんなでちょっと早い「メリークリスマス」を楽しみました。「親元から離れ、友達同士で楽しむこと」これも自立に繋がる大きな要因になります。来年度からはスタッフの充実と共に、月1回の宿泊体験イベントから利用される方の要望に合わせた宿泊へと体制を変えていく予定です。

来年度施行の障害者自立支援法では、障害福祉サービス費における居宅サービス費の大幅な伸び率が期待できます。これは、私たちが「重度の障害を抱えていても地域の中で暮らしていく」という目的に進んでいくのに、絶好の機会となります。障害を抱えている方の思いと共に宿泊体験を進め、将来はグループホーム、ケアホーム、一人暮らしというシステムにつなげていきたいと思えます。

「名古屋文化ふれあいの旅」 協力：アイシン精機（株）さわやかふれあいセンター

平成17年11月22日（土）心地よい秋晴れの中、アイシン精機（株）さわやかふれあいセンター様のご協力で、名古屋の近代文化にふれる社会勉強をさせていただきました。また名古屋市東区の東区文化の道ガイドボランティアの皆様には、参加された方の調子に合わせて丁寧に案内をしていただきました。どのようにしたら障害のある方に楽しんでいただけるのか、いろいろと骨を折っていただき、スタンプラリー形式で行いました。近代建築に興味がなくともスタンプラリーに関心を持ち、懸命に集めてみえました。企業のボランティアの方もガイドボランティアの方も「障害のある方に関わる機会が少ないために、障害のある方に壁を作ってしまうがちだ。今後は障害のある方と関わることを増やしていきたい。」とおっしゃっていたことが心に深く残っています。

本当にありがとうございました。 (篠田)



11月余暇クラブ情報		1月余暇クラブ情報(予定)	
1日(火)	放課後クラブ(小学生対象放課後支援)	8日(日)	色遊びクラブ 「書初め大会」
5日(土)	刈谷市制55周年イベント 「GOGOウォーキング」	8~9日	宿泊体験イベント &新年会
12日(土)	電車クラブ 「豊橋鉄道渥美線3兄弟の旅」	14日(日)	旅行クラブ 「ディズニーランド計画」
13日(日)	茶道クラブ 「お茶席に出かけよう」 in 東浦産業祭り	15日(日)	創作ダンス&音楽クラブ
15日(火)	道草クラブ(中高生対象放課後支援) 「ホットケーキ作り」	17日(火)	道草クラブ 「風船バレー」
20日(日)	創作ダンス&音楽クラブ	22日(日)	スポーツクラブ 「新春・ポーリング大会」
27日(日)	色遊びクラブ「年賀状作り」	25日(水)	道草クラブ 「たこ焼き作り」

12月余暇クラブ情報	
3日(日)	「誰もが暮らしやすい街づくりフォーラム」 茶道クラブチャリティー茶会
6日(火)	サンバDEジャンベ
14日(水)	道草クラブ(中高生対象放課後支援) 「風船バレー」
17日(土)	電車クラブ企画会議 「新春は、セントレアに決定!!」
21日(水)	道草クラブ(中高生対象放課後支援) 「たこやき作り」
22日(木)	旅行クラブ 「ディズニーランド計画」
24日(土)	料理クラブ 「ミートローフ&スープ」
27日(火)	スペシャルイベント 「年忘れ・大忘年会!!」



★ くるくる近況報告 ★

刈谷市制 55 周年記念「誰もが暮らしやすい街づくりフォーラム」

今年度は刈谷市制 55 周年を迎え、記念のイベントをくるくるも、ということで 12 月 3 日、「誰もが暮らしやすい街づくりフォーラム」を行いました。高齢者・子ども・障害の有無に関係なく暮せる街とは一体どういうものなのか、どうしたらそういう街、地域にしていけるのか、地元の皆さんが考えてくれる機会になれば、という想いに添って企画されました。

当日は他にも様々なイベントが企画され、お客が集まるかどうか心配でしたが、約 250 名と入り人数もまずまず。内容は「老い」というテーマで渡辺哲雄氏の講演、わかりやすい切り口で具体的な事例を盛り込みながらお話し下さり、90 分があっという間でした。地元 NPO や福祉団体の紹介ブース(19 団体)は大盛況で、午後からは手話バンド ANGELS の力強いバンド演奏、障害の有無に関係なく表現されたアーティスト達オープンセサミ、地元の鳴子踊り「魁」の気合の入ったパフォーマンス、そしてフィナーレは地元刈谷が世界に誇るミュージシャン、近藤房之助さんのブルージーな歌声が感激・感涙を呼び、盛りあがりました。



関係者だけでなく、たくさんの地域住民の人達が参加してくれ、住みよい街を考える時、こんな団体やこんな人達が私達の地域で活動しているのだということが伝わっていると思うとうれしいですね。

尚、今回のフォーラムの主催はくるくるでしたが、実質的な企画運営は企画委員会によるもので、委員会には㈱デンソーハートフルクラブや㈱デンソー総務部の方を始め、地元の福祉団体の方々も参加してくれました。この方々のお力もあってのフォーラム成功でした。また、当日参加してくれたたくさんのボラさん、ありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

(鈴木)

「地域で暮らそうフォーラム」参加

10月20～21日に長野県で開かれた、「地域で暮らそうフォーラム」にスタッフ3名が参加してきました。田中康夫知事になってから急速に地域福祉が進んだ長野県ですが、その中でもモデル地区として注目されている西駒郷での地域移行の取り組みや、行政、事業所が果たすべき役割などについて、なるほどと納得させられる部分が多々ありました。今後もこのような研修に積極的に参加し、くるくるの糧にしていきたいと考えています。

(小沢)

くるくるのブログができました

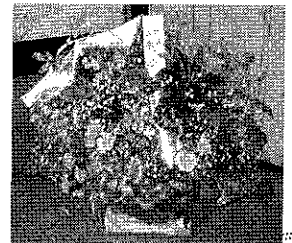
その名も「くるるん」、アドレスは <http://kurukuru.no-blog.jp/kuruta/>

くるくるの近況報告やお知らせなどをお届けします。

毎日更新とはいきませんが、1週間に1回、いや2週間に1回か・・・なるべくこまめに更新したいと思います。お気づきの点はお知らせください。

ありがとうございました

くるりん開所にあたり、たくさんの方々から家具・家電、おもちゃなどご寄付いただきました。また、11月23日の開所式にはご記帳いただいただけでも20名、かけつけてくださった皆さんで大広間が埋め尽くされました。お祝いやお花、差し入れなどもちょうだいいたしました。ありがとうございました。盛り上げてくれたボラさんにも感謝です。



11月30日(株)デンソー様より寄付(デンソーマッチングギフト)をいただきました。児童デイサービス開所準備などに有効に活用させていただきます。

<正・賛助会員>井村美穂様 春日紀子様・麻紀様(3口) 坂本ちひろ様 中尾美保子様 石川恵子様
川内理恵様 大戸井志保様

<寄付> 中村正彦様 堀井一郎様 シマちゃん様 アシナガオネエサマ様 中村圭子様 匿名様2件
植月かおる様・麻衣様・恵美様 療育・共同作業所準備会“風”様 太田様 澤頭修一様 児童デイサービスひかりっこ園長大南友幸様 佐藤浩子様 澤頭真由美様 野々山瑞紀様

賛助会員を募集しています

くるくるでは、法人の理念・活動に賛同し、支援して下さる賛助会員を募集しています。

- ・年会費 1口 3,000円
- ・会員特典 会報「くるくるつうしん」の送付、イベント等の情報の配信
- ・申し込み くるくるまで氏名・住所・TEL・FAX・所属先をお知らせ下さい。
その上で、年会費の納入をお願いします。
- ・振込先 ●岡崎信用金庫 刈谷支店 口座番号 3162778
口座名 特定非営利活動法人くるくる 代表理事 小野規正
郵便振替もご利用ください
●郵便局 口座番号 00890-3-167757
口座名 特定非営利活動法人くるくる